

# 近畿中国局フォレスターNEWS

## 林業の担い手育成支援に向け、近畿中国森林管理局管内林業大学校等協議会を開催

令和2年11月5日(木)、当局職員と林業大学校等の関係者による「近畿中国森林管理局管内林業大学校等協議会」を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を延期し、従来の対面方式では無く、WEB会議により開催しました。

各大学校等からは、学校紹介等に続き、林業大学校等を代表して、兵庫県立森林大学校長から、国有林との連携事例の発表が行われました。発表では、令和2年7月に当局と兵庫県が締結した約2haの分取造林契約地(国有林)について、学生の実習フィールド、記念式典(同年10月)時の植樹、同大学校と林木育種センター関西育種場とのエリートツリーの生育状況調査等の共同試験地等として利用されていることなどが説明されました。

当局からは、森林管理署等の各学校との人材育成協定、現地講習会、講師派遣等の取組を紹介しました。

また、協議会の設置要綱の改正案を提示し、広島県立庄原実業高等学校が高等学校として初の構成員となることなどが了承されました。

コロナ渦で本協議会は、慣れないWEB開催となりましたが、心配していた回線トラブルもなく終了しました。但し、会議時間の管理が難しく、意見交換時間の確保等の課題もありました。

今後、本協議会が、より良いものとなるように、その内容や開催方法、実施場所等を検討していきます。



近畿中国森林管理局管内の森林・林業関連教育機関

## 下刈り作業の労働軽減に関する現地検討会を開催(広島県)



現地検討会の様子



「山もつとジョージ」の試乗

複数県を跨いだ国有林のフォレスター活動として、令和2年9月2日(水)、広島県安芸高田市の時鳥(ほととぎす)山国有林において、広島北部森林管理署等の主催により、「先進造林用機械による下刈り作業の軽減」を目的とした現地検討会を開催しました。

当日は、広島、山口の県及び市町の林務担当者及び広島県内の森林組合、林業事業体等の民有林関係者35名を含む総勢74名が参加しました。

現地検討会では、林野庁のスマート林業構築実践事業の支援を受けて、(株)キャニコムが開発した乗用型多目的造林機械「山もつとジョージ」の伐採跡地での実演や、下刈り作業時の性能とその活用の課題等について意見交換を行いました。

参加者からは、「メンテナンスの経費は」、「導入コストの課題があるが、林業の中で最もきつい下刈り作業の労働負荷が大きく軽減される。」などの意見が出されました。

## 令和2年度 森林・林業技術視察プログラムについて

森林技術・支援センター(岡山県新見市)は、国有林における森林・林業に関する技術開発や、その成果の民有林への普及に取り組んでいます。今年度から、「森林・林業技術視察プログラム」をホームページで公開し、右記の9つのメニューを中心に、民有林関係者等の視察を受け入れています。

同プログラムでは、8種類のお勧めコースがあり、全日・間伐コースでは、「メニュー5(列状間伐)、メニュー6(針広混交林化)、メニュー9(スマート林業)」の3カ所を、半日・造林コースは、「メニュー1(コンテナ苗)とメニュー3(広葉樹コウヨウザン)」の2カ所を視察いただけます。所要時間は、全日コースは、9時～16時、半日コースは、9時～12時又は13時～16時となっています。

9種類のメニューの内容、8種類のお勧めコース、申込み等に関する情報は、右記のホームページで公開しています。

なお、視察コースへの参加を希望される場合は、森林技術・支援センターまでご連絡願います。業務の都合により、ご希望に添えない場合もあるため、早めにご相談願います。

プログラムの視察コース以外にも、新たな森林経営管理制度等で、はじめて森林・林業を担当することになった市町村職員の方を対象とした、「森林・林業技術習得支援プログラム(基礎編)」もありますので、ご興味のある方は、森林技術・支援センターまでご相談願います。

### 森林・林業技術視察プログラム

#### <植栽>

- メニュー1:コンテナ苗
- メニュー2:早生樹センダン
- メニュー3:早生樹コウヨウザン
- メニュー4:エリートツリー(ヒノキ)

#### <間伐>

- メニュー5:列状間伐

#### <針広混交林化・複層林施業>

- メニュー6:針広混交林化
- メニュー7:育成複層林施業

#### <その他>

- メニュー8:里山広葉樹林の活用・再生
- メニュー9:スマート林業



【森林技術・支援センター】  
所在:岡山県新見市高尾786-1  
(新見駅から徒歩13分)

TEL:050-3160-6215

[http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/g\\_center/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/g_center/index.html)

### 「森林・林業技術視察プログラム」のメニュー紹介:列状間伐(メニュー5)

1990年(H2)に列状間伐を実施したスギ及びヒノキ林(1959年(S34)植栽)の間伐試験地  
列状間伐区と無間伐区やその後に定性間伐を行った林分の成長状態等の比較を視察可能



列状選木 1伐3残(1990年)



伐倒・玉切り(1990年)



列状間伐後27年(2017年)

林野庁

近畿中国森林管理局

技術普及課



国民の森林・国有林

TEL:06-6881-3524 FAX:06-6881-3553

URL:<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

### 編集後記

10月1日付けで京都大阪森林管理事務所から森林管理局技術普及課に参りました岡林です。今号より、フォレスターNEWSを担当することになりました。民有林と国有林が連携した取組をご紹介できるよう、関係者からの幅広い情報収集に努めていきますので、よろしく願いいたします。